

腫瘍内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:00
- (2) 集合場所 みらい棟3階 先端がん治療センター資料室

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行う。ただし5年生よりは「腫瘍内科学」と「腫瘍内科」の実地臨床について専門的な理解ができる事を目標とする。

指導医の指示に従って、組み込まれたチームの一員として、支持された入院患者の準主治医として臨床実習を行う。主治医・担当医（当番制）・指導医の協力の下に、毎日受け持ち患者さんの問診や診察を行い、検査所見などを考察し、プロブレムリストを作成し、それに基づいて受け持ち患者さんの病態や治療方針について理解する。主治医より受け持ち患者さんについて検査や治療方針について確認する。週1階の全体回診や、日々の主治医または担当医の回診に同行する。

毎日、夕方にその日学習したこと、疑問などを担当医などを担当医に報告し、ディスカッションする。これらのことを通じて、日々の研修で理解した患者さんの病状や病態について、プレゼンテーションする能力を身につける。

期間中、腫瘍内科外来に同席し、外来でのがん治療を実習する。

3 GIO（一般目標）

臨床実習を通して以下の必要な考え方・知識と技術を取得する。

1. 固形腫瘍患者の診察および治療（主に化学療法）法の選択
2. 化学療法の実施と副作用のマネジメント
3. 固形腫瘍患者に対するインフォームド・コンセントの在り方
4. がん薬物療法のEBM (Evidence Based Medicine)
5. 分子標的薬の開発やゲノム医療

4 SB0（到達目標）

- (1) 問診，身体所見，検査所見などから総合的な診断を行うことができる。
- (2) 検査法の概要を理解し，適応や所見の解釈ができる。
- (3) 固形腫瘍患者の基本的な画像所見を理解する。
- (4) 化学療法の実施と副作用のマネジメントを行うことができる。
- (5) 標準的治療法を理解し，適応について判断することができる。
- (6) 分子標的薬の開発やゲノム医療について理解する。
- (7) がん患者から適切なインフォームド・コンセントを得ることができる。

5 スケジュール（1-2週間）

| | |
|------|-------------------------------|
| 月：午前 | オリエンテーション，病棟患者割り当て，外来実習（1～2台） |
| 午後 | 全体回診，病棟実習 |
| 火：午前 | 外来実習（1～2名），病棟実習，動画視聴など |
| 午後 | レクチャー，ディスカッション，病棟実習 |
| 水：午前 | 外来実習（1～2名），病棟実習，動画視聴など |
| 午後 | レクチャー，ディスカッション，病棟実習，がんボード |
| 木：午前 | 外来実習（1～2名），病棟実習，動画視聴など |
| 午後 | レクチャー，抄読会，ディスカッション，病棟実習 |
| 金：午前 | 外来実習（1～2名），病棟実習，動画視聴など |
| 午後 | 実習生プレゼンテーション，まとめ |

基本的には5年生と同様ですが，希望により専門的な臨床実習，臨床研究，トランスレーショナル研究などの研修の機会が得られるように配慮いたします。

担当症例に関するディスカッションにとどまらず，がん種別，あるいは，臓器横断的にがん薬物療法のエビデンス，治療選択の考え方，治療の実際，副作用マネジメント，分子標的薬の開発やゲノム医療などについて学びます。

6 評価法

出席状況，実習態度，レポートなどを総合的に評価する。

7 その他注意事項等

服装，マナーに注意してください。

患者さんのプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ってください。

感冒症状や発熱などがある時には，必ず指導医に報告してください。

担当患者以外でも興味がある患者さんの診察は，積極的に申し出てください。

不明な点は，いつでも，主治医又は担当医に聞いてください。